事例No.	1121
公表年度	R2
団体の属性	中核市
団体名	山形県山形市

事例区分	一般行政

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・EBPM

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく取組の基本方針策定とモデル地区での試行

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

森林整備

山形県　山形市（森林経営管理制度に基づく取組の基本方針策定とモデル地区での試行）

- 山形市では、森林所有者の高齢化・不在村化等により適切な森林整備が行われていない箇所が増加していることから、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度により、これまで手つかずの森林の整備を推進する方針。
- 令和元年度においては、下記の取組みにより、来年度以降の事業の見通しを立てることができた。
  - 新たに導入したクラウド型森林GISで管理する情報等をもとに意向調査対象森林の中で優先順位を決定し、森林経営管理推進事業に関する本市の基本的な方針を策定した。
  - 意向調査対象森林2,329ha（全私有林人工林の約8割）のうち79haをモデル地区とし、意向調査を実施した。この調査結果により、「市に委ねることを検討したい」と回答した森林所有者の所有森林のうち36haを経営管理権集積計画作成候補地とした。
  - 令和２年度は、計画候補地36haについて境界確認・測量を実施し、経営管理権集積計画を作成する。

□ 事業内容

1　意向調査に向けた事前準備

- クラウド型森林GISの導入及びＤＭによる森林の現所有者調査を実施し、森林情報の一元化及び所有者情報の精度向上による意向調査の効率化を図った。
- 林班ごとの資源状況や施業履歴等の情報から意向調査対象森林を抽出した。
- 意向調査を効率的に進めるため、意向調査対象森林をエリア分けし、クラウド型森林GISの情報等をもとに作成した評価マトリックスにより優先順位を決定した。

また、森林経営管理推進事業に関する本市の基本的な方針を策定した。

【事　業　費】2,020千円（全額譲与税）
【実　　績】意向調査対象森林　2,329haを抽出、基本方針の策定

2　モデル地区における森林所有者への意向調査の実施

- モデル地区の私有林人工林79ha（地番筆数526筆、77名分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向に関する調査を実施した。

【事　業　費】551千円（全額譲与税）
【実　　績】意向調査面積　79ha

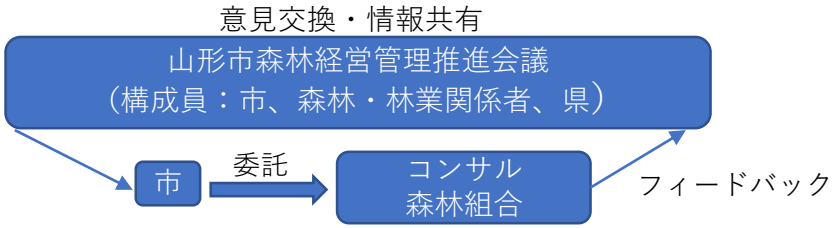


事業１:会議写真



事業２：説明会写真

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- １の事業においては、意向調査優先順位の決定にあたり、災害発生危険区域が優先的に整備になるよう、評価マトリックスで加重配点とした。
- ２の事業においては、意見交換会の内容を踏まえ、面的にまとまりがあり、公益的機能が高い森林を有し、公的整備の要望があった地区を「モデル地区」に設定し、試行的に意向調査を実施した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	15,783千円
②私有林人工林面積（※１）	2,907ha
③林野率（※２）	54.4%
④人口（※３）	253,832人
⑤林業就業者数（※４）	58人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」